〔大正十年四月二十二日第三種郵便物認可〕 昭和三年十二月四日 磐城新聞 〔火曜日〕 第二千四百五號 (一)

磐城新聞

三日夕刊

休刊 大祭 第一第三日曜
定價 壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料 二行五十錢（指定廿錢增）
發行兼編輯印刷人 逹沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六四番

本郡義務教育費 合計九萬一千九百餘圓 各町村の割當額

石城郡に對する昭和四年度の義務教育費國庫補助合計九萬一千九百四圓三十九錢にして各町村別左の如し

泉村	二、一五五、六九
渡邊村	九七五、三七
植田町	二、一六六、一七
山田村	一、四二五、六六
錦村	一、六四四、七一
勿來町	三、五九二、〇五
上遠野村	二、〇六八、一六
入遠野村	二、二〇五、五九
川部村	二、三一一、八五
田人村 荷路夫村 貝泊村 石住村	二、一六五、八二
平町	八、四四一、一〇
飯野村	一、二六二、七六
夏井村	一、〇九一、四〇
高久村	一、一三一、七四
豐間村	一、六二〇、五三
江名町	二、一三一、六四
鹿島村	一、〇二〇、七〇
小名濱町	三、四七三、〇〇
玉川村	一、〇一八、一五
磐崎村	四、一七七、〇八
湯本町	六、五四四、八六
内郷村	九、八六六、三一
好間村	四、九〇四、八六
赤井村	三、六一五、五四
永戸村	一、四三九、八六
箕輪村	八六三、四四
澤渡村	九六四、三一
三阪村	一、五一〇、八八
神谷村	一、九七一、七五
草野村	二、〇八八、〇四
大浦村	二、〇三一、〇四
四倉町	三、一七〇、九五
大野村	一、七九二、四八
平窪村	一、五六七、八五
上小川村 下小川村	一、九六二、七〇
川前村	一、四四〇、三一

貨車の配給不足 小炭礦業者極度に困憊

磐城地方の炭界はいよ／＼

出發期に入り例年の如く貨車配給不足に惱まさるゝ時となつて採炭業者は勿論各送炭驛とも大汗の頭痛鉢卷であるが特に比較的小規模の炭業者は毎日の出荷量に不同ある爲め僚約の配車に浴せぬ關係から稍ともすれば等閑視され數日前より申込に對しても配車とならぬ狀態で非常な困憊を見せ取引先からは催促を急がれるといふ始末に殊に氣の毒なものがありその都度當業者は善後策を講じそれ／＼配車の希望を監督廳に申出てゐるが昨今の如く金融逼迫の折柄その影響殊に著しいものがあるところから石城郡南方面の荷主連は近く陳情する筈で協議中である

不良仲買人等の妨害が恐ろしい 兎肉の販賣斡旋に日割其他々秘密

石城郡農會で、愈々兎肉販賣の季節になつたので近く昨年の如く郡下養兎の販賣斡旋を開始する事となつた、郡下各町村との決定日割は不良仲買人其の他の妨害を恐れて秘密に附されてゐる

因に郡農會の販賣斡旋に對する標準價格は大体次の如く決定した

△一等（八百匁以上のもの）白色二圓九十錢雜色一圓四十錢△二等（六百匁以上のもの）白色二圓六十錢雜色一圓三十錢△二等（五百匁以上のもの）白色一圓三十錢、雜色一圓

尚郡農會が兎肉の販賣斡旋を開始する事が發表されて以來養兎の本場とも見られる郡南及山間方部には兎肉仲買商人が續々と入り込んで農繁期を幸に八方飛廻つて當業者を巧みに僞さボロイ儲をせんものと努めてゐるが此れに就いて郡農會當局では

「目下農繁期にあるので不正仲買人の甘口に乘り安い時であるが昨年の例もある事であるし前記の如き標準價格では仲買人は到底やり切れないから尾を卷くものと思はれる斡旋日割は此等仲買人等の妨害を見こして秘密にして置くから郡農會から通達あつた町村は直ちに共同販賣の準備をして欲しい」云々と語つてゐた

改良俵米品評會 四倉、草野、大浦、大野聯合 出品俵米は即賣

大浦村農會では今春來毎月一回宛米の共同販賣を施行し頗る好成績を收めて來た結果來年度からは一月十五日の毎月二回宛に施行することゝなつた旨既報したが更らに同村外四倉町、草野、大野の近接一町三ケ村には御大禮記念事業として來る廿五日から廿七日まで三日間に亘り大浦村農業倉庫内に於いて地方産米改良獎勵の聯合俵米大品評會を開催する事と決定し目下準備に努めてゐるが出品申込み既に五百餘俵に達し未曾有の盛會を豫想されてゐる、尚石城郡農會並に平穀檢支所に於いては同品評會を協力して應援する事となり品評會終了後は出品俵米の競賣入札に依つて即賣會を催す筈である

ミシンを寄附 錦村

大字大倉中向赤津勇氏は明治四十三年度同小學校卒業者で目下東京淺草區で洋服帽子類の問屋を營み成功者の一人であるが今回御大典記念として母校にミシン一臺を寄贈した

戸田氏辭職 四倉消防の組頭

四倉消防組々頭戸田雄幸、同副組頭高木寅之助の兩氏は去月二十九日突然辭表を提出したので各部幹部は急遽役員會を開催して之が善後策に就き協議を重ねたが辭任理由を考究する必要ありとて委員を擧げ腹藏なき意見を聽取すべく決したが戸田前組頭は前例により先に副組頭として在任永く組に貢獻深き金成岩吉氏を推薦したと

郡下の麥作 早播きは良好

石城郡駐在神尾技師は郡内の麥作調査を行つて居るが今年は天候の關係から稻の刈り入が遲れたゝめ從つて麥の蒔時けも遲れ麥の生育狀況は前年に比し幾分不良ではあるが十一月中旬頃播種したものは何れも發育狀況よく一般的に見て普通であると

明日の吉凶

舊曆十月廿三日 新曆十二月四日

▲一白 思ふ事十指に餘りて選擇に迷ひやせぬか▲二黑 目上の惠み薄く人をたよりにせず自らはげむべし▲三碧 事業は着々と進めども和合に欠くる所あり▲四綠 明かるい樣でも何となく晴れ／＼せぬ日進退注意▲五黃 運氣盛大なるやうでも目上と疎隔あり注意▲六白 入りても出ても滿足を得らるゝ日失ひ物注意▲七赤 快く働ける日全家氣を揃へあせらず進むべし▲八白 八の爲に勞して却て怨まるゝ事あり注意▲九紫 急功を求むるときは運氣ます／＼澁り行くべし

讀者欄

女教員の叫び

平。すずらん 投

子供は滿七歲になれば小學校へ行きます。子供の心を最もよく知る母性の愛に七年間育くまれてこれから子供は誰の手へ移るのでせう。そこには兒童の心をつかもうとして努めてゐる男性が君臨し兒童の心を既に知つてゐる女教員がその支配下にあるのであります。知れる女教員は知らざる男教員に支配されてゐます。何といふ不合理、何といふ矛盾でありませう。これは多くの人に依つて說かれてゐます。然しそれが

續く上がらぬのはどうしたものでせう、これはあらゆる社會機關の男子に依つて經營されてゐる樣に教育機關もまた男子に依つて經營されて居るからであります。女教員は能率があがらぬといふ人があります。それは何の爲の能率不振なせうか、これは經濟上の缺陷か、生活を保證し地位を保證してこそ初めて、その言葉が言ひ得るのであります。兒童の母たる女教員の爲に何故その施設を考へてくれぬのでせうか。そこに完全なる兒童教育の正當なる發展を見るのではありませんか、師範を出たとき

員はその經濟的差別を與へられます。その上、正教員として長い奉仕そこに女教員だけの特質と効果を發揮しても、當然存在すべき校長としての地位は與へらるべくもありません。我國の小學校界を見渡しても僅に二三名の女校長を有するに過ぎぬではありませんか。

小學校女教員は永遠に校長として、その抱負を然るべき兒童教育の責任者として奉仕すべき機會を與へられる事が出來ないでせうか、私は校長として名を要求するのではありません。その實を要求したいのです。實は教壇でも結べるといふ人があるかもしれませんがそれは職員室の内容を皮相に見た言葉であります。

男子が小學校長として君臨する上に於ては女教員は必然的に人爲的の壓迫を免れる事は出來ません。これは總ての女教員が目擊或ひは總ての男教員が目擊し身に覺のある事であります。この點、早くも氣の付いた米國では兒童と女性否母性愛との關係に就て深く考慮し、小學校教員は漸次女教員を以て充たさうとしてゐるさうであります。識者の一考を乞ひたいと思ひます。

講談 幕末秘帖 狂怒亂心 (104)

渡邊默禪作 宮野歌春畫

新徵組は壬生の眞德寺その他の寺院に分屯して、將軍の在す二條の城を中心に絶へず市中を巡邏警戒した梅は近藤に遇つて、山岡の行動に何等怪むべきところが無かつたことを報告した。さもあらうことゝ近藤も土方もうなづいたが、芹澤だけは容易に信用せぬ。「ならば山岡の首はつなぐとも清川一人は是非討取らなければ、後の患をのこすに極まつてゐる」と固く云張る此の話を近藤から梅に洩らすと、梅は非常に憤慨した—「何てえ解らねえ野郞だらう、よし、そんなことを云ひやがるなら、私ぁ了簡がある」と叫んだ。

直ぐとその足で山岡の旅館を尋ねた。そうして鐵舟に遇つて實にあなたと清川を暗打しようと狙つてゐる者があるから油斷をなさるなと密告した。鐵舟は梅の好意を喜んで氏名や身分を問ふたけれども、匿して答へず御緣があれば又たと言捨てゝ逃げるやうに戻つた。是からといふものは鐵舟は陰に陽に清川を保護した、何處へ出かけるにも自分が同行する。

とは心づかぬ芹澤鴨、近藤に迫り立て有無を言はさず清川を斬殺す陰謀に同意させた。

芹澤に狙はれてゐると知つてか知らないでか清川八郞は或る夜壬生の眞德寺を出て山岡鐵舟を大佛前の伏見新道町正面通の旅館に訪ひ、深更まで談話をしていざ歸らうと立揚るのを鐵舟が止めて、一泊しろとすゝめた。八郎は肯かぬ、それならば自分が同道してお送り申すと、辭退するのを强いて共に宿を立出でた。

街道町を一丁目に出て、五條橋へ曲らうといふ辻角で、突然物陰から躍り出した二人連の浪士らしい男があつた、その一人が突と駈け抜けていきなり鐵舟に突當つて、失策つたと叫ぶより早くばた／＼と逃出すと、他の一人も續いて影を消して了つた。八郎は更に理由が解らず狐につまれたやうな氣がしたが、鐵舟だけは思ひ當る事がある。そこで始めて梅が來て密告したことを八郎に告げると、八郎は其の風体や人相を問糺してはたと手を拍ち、「それこそ江戸の紀州屋敷前で斬りかけた非人姿の不思議な男、俺は今夜の出來事も、その男が自分を救はうといふ一時の機略から只突當つてそれと知らせ、共に事を擧げようと同行して來た味方を欺いて體よく避けたものであらうと判斷し、其の俠情の厚いのに一方ならず感激したが、是ではない、近藤勇であつた。勇は同夜芹澤鴨と八郎を暗殺すべく、此の大佛耳塚前の料理屋みそつくして來て酒を飲みながら時刻を計り、歸路に待伏してゐたのである。勇は梅の復命を聞いて以來八郎に對する敵抛つた。如何にかして之を生かして置きたいと祈つてゐた。けれども芹澤から迫られてよん所なく同意をした上はいやでも及にかけねばならぬ。是が勇の苦心する所であつた。然るに幸ひなことには鐵舟が同道してゐる、鐵舟は自分より一枚上の劍客、そうも其の首には將軍家御朱印の浪士募狀を金襴の袋入にしてかけてゐる。

預金の賣買を致します
▽賣買の手續は無料で致します
(ト) 平町仲田町 駒場株式店 電話四六五番

カマボコ
原料精選—品質佳良
特別廉價—配達迅速
多少に拘はらず御用命願上げます
電話八二七番
鮮魚仕出 吉田かまぼこ店 平町田町大通り

吉田眼科醫院

磐城病院改稱
市原病院 平町田町（電話一一四番）
内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男

學生外套入荷
中學用
二四丈 頭巾付 一一、〇〇
二五丈 同 一一、五〇
二六丈 同 一二、〇〇
二七丈 同 一二、五〇
二八丈 同 一三、〇〇
小學用
一八丈 頭巾付 八、〇〇
二〇丈 同 八、五〇
二二丈 同 九、〇〇
其の他マント、オーバ、トンビ 豐富入荷
平二 おかや洋服店 (電二〇三)

夜間診療
胃腸 内科 十二指腸虫病 專門 内科部
梅毒 淋病 婦人病 皮膚病 專門 外科部
平南町 木村病院 電話一〇七

入院應需
内科、小兒科 花柳病科
藤沼醫院 平町紺屋町 電話平 五〇七番

新製品着荷御案内
優美典雅な御大典記念時計が種々着荷致しました記念として永久的な御贈答品に最も良く値段も三圓より拾圓位迄で御散步の折柄是非御立寄御覽を願上ます 院長敬白
大谷時計病院 電話一一九番

營業種目
内地材 材木各種、羽柄材各種 建築諸材請負 礦山用坑木其他諸材請負
外材部 米松、米杉、大角製材調達請負 其他
(百) 佐藤材木店 常磐線平町新川町 電話三三五番

電燈より接續してすぐ寫る 家庭活動寫眞
パテーベビー活動寫眞機
映寫器 八〇、〇〇
撮影器 六五、〇〇
フヒルム 一本 二、〇〇 二、五〇
生フヒルム 一本 一、〇〇
市内はお伺ひして御覽に供します
御申越次第カタローグ進呈
パテーベビー代理店 平町二丁目 西村屋藥舖 長電話三番

平銀行の裏を行く 反高岡派の一味
某政黨と結托して暗中飛躍 合併の成否注目さる

平銀と常磐銀行との合併成否如何は各方面より多大の注目を惹いてゐるが問題は合併の基本となる資產比率の點にして常磐銀行の評價が果して平銀行の承服出來る程度のものならば素より論はないが今日まで接衝推移を仄聞するに此の點に相當の距離あるものの如く平銀行が更に幾多の犠牲を覺悟せざる限り合併は可成り難難の樣に見られてゐるが從つて平銀行の內部には重役高岡唯一郎、木村清治兩氏に反感を抱き事毎に同氏等の行動を否定する重役並に首腦行員の一味があり常に反目睨視して來たが今此の休業に際しても之れ等反高岡派の人々は高岡氏等の橫暴を難詰し同氏の熱心に主唱する常磐銀行との合併を不調に終らしむべく密かに策動を試みるものあり加へて益々合併困難な雲行きを釀生せしめてゐる模樣である、而して之れ等反高岡派の計劃に隨へば彼れ等は某政黨と結び常磐銀行との合併を不調ならしめ郡山市に本店を有する郡山〇〇銀行と合併し將來政黨的に利用せんとする深謀を抱き旺んに暗中飛躍を試みつゝあり若し常磐銀行との合併が不成立と絕る如きことあらば將來實に由々敷き問題の惹起するなきを保し難き險惡な空氣濃厚の度を增しつゝあり常磐銀行との合併成否如何は非常に重大視されてゐる

脅迫と誘拐主義の 爆裂團の不良組
秘密結社の連判狀 平署廿名を檢擧

石城郡內郷村を中心に不良團が跋扈してゐるので平署は檢擧を開始し一日首領株の中村、西村兩名を檢擧取調の結果同人等は團員四十餘名を有し白鞘團或は爆裂團の名稱を附しゐたことが連判狀の發見から判明したので一日夕刻から更に檢擧を開始し二日朝までに二十名を檢擧し引續き取調中であるが一味の行動は頗る巧妙を極めたもので係官を舌を捲いてゐる、中村西村の兩名が爆裂團を組織したのは昨年春頃で表面歌留多會を作り團員を勸誘し入會したものは直ちに連判狀に署名捺印をなさしめ後團の秘密規約を明かして正式團員としこれを拒むものは連判狀を以て脅迫してゐたものでこれ等の規約には「通行人に喧嘩を賣團員がこれを仲裁者の名によつて金品を強要すること、良家の婦女子を誘拐して金品を強要することその他團の秘密を洩らしたものは嚴罰に處する等の十數ヶ條を規定したもので團員中には相當の家庭のものもあるので取調べの進展については重大視されてゐるが未檢擧の團員十四名も今夕までには全部檢擧する當局の方針である

養鷄講話 高久村で

高久村農會では來る六日午後一時から同村小學校に於いで農事講話會を開催することゝなつたが當日は郡農會鈴木技手の副業奬勵殊に養鷄に關する講演ある筈

聞くだに戰慄する 不良團の手口
恰もジゴマ團に似た一味 平署活動を經續

別項―一日夕刻から一網打盡的に檢擧の手を張つた平署の不良團狩は同署始まつて以來の大檢擧であるが同不良團は中村、湯本、內郷等に散在して巧に氣脈を通じてゐる十月廿一日夜內郷村大字白水うどん屋に秘そかに集合し正式に爆裂團と命名し發會式をあげ同時に團員は必ず白鞘の短刀を握り鐵輪を所持することを申合せいづれも團員はひそかに右品を購入し所持してゐたもので一味は會社事務員、中學校の半途退學者等があり男女二隊に分かれて各方面に向つて活動西洋のジゴマ團のやうに猛威を振るつてゐたもので家宅搜索の結果一切の證據物押收によつて判明したが取調の進展に從つて婦人團員も數名ゐることが判明三日朝までには四十餘名全部の檢擧を見る模樣であるが團員の意外に多いことに平署でも驚いて居るが二日は日曜にも拘らず中檢事局三笠平署長猪狩氏等自ら取調べを行つて居た

磐女職員生徒が 體育會加盟

磐城高等女學校では木村校長を會長とし過般日本體育聯盟に加盟したが會員は職員二十四名生徒八百名で組織し櫻ヶ岡體育會と命名し體育奬勵を實行することになつたが地方に於ての加盟入會は同校を以て嚆矢とすると

三阪村に 勞働組合 日勞黨が農村進出

先年磐炭その他に起つた炭礦爭議以來常磐地方に堅壘を誇つた日勞黨も現在では殆ど影を潜めて居たが愈々同黨の更生に向つて進出することになつた結果從來の炭礦本意の運動を轉換し農民運動に着手したが愈々同黨の勢力擴張の前提として石城郡三阪村差鹽青年勞働組合を組織し過般發會式を擧げたが地方の組織的農民運動はこれが最初なので其の進出は注目されてゐる

四大炭礦聯合庭球戰 入山組優勝す
昨日三井コートで 近來の白熱戰

磐崎村藤原三井炭礦主催常磐四大炭礦庭球大會は既報の如く昨二日午前九時から同炭礦コートに於いて開會したが參加四チーム抽籤の結果第一回戰は古河對三井、磐崎對入山と決定各軍の應援物凄い中に開戰跡は次の如くである

古河軍		三井軍
安富 木田	三―〇	布施 坂部
◎同	三―〇	前村 小西
石井 井上	二―三	室越 松本
荒川 猪狩	一―三	同◎
小森山 矢野	三―一	大井川 清水
同	二―三	礒邊 柚木
高橋 佐藤	三―二	同
同	〇―三	室越 松本
安齊 木田	三―二	同

大激戰の後古河組辛勝す

入山軍		磐城軍
板橋 岩倉	三―〇	矢內 長山
◎同	三―〇	松本 富樫
小久 比佐	二―三	志賀 佐藤

磐城の先陣三組無慘に屠られて遂に入山勝つ斯くて入山對古河軍の決勝戰に入る

入山軍		古河軍
中崎 岩倉	三―二	小森山 矢野
◎同	三―〇	高橋 佐藤
遠藤 山田	一―三	石井 井上
佐々木 佐藤	三―〇	同
◎同	三―〇	荒川 猪狩
板橋 阿部	二―三	安齊 木田
小久 比佐	三―一	同

入山軍の物凄い當りに抗すべくもなく古河遂に慘敗し入山榮ある優勝閉戰午後三時近來の盛會であつた

安全至極な 金の置場所
平局の貯金 平時の約四倍

昨今の地方財界は銀行の閉鎖などに極度の狼狽をきたし金持連は融通は勿論金の置き處もなくびく〳〵ものであるがこれに就て平郵便局の貯金出納狀態を聞けば異常な增額を示して局員大多忙を極めてゐるが十一月以降の成績は貯金受入總額二拾八萬四千九百六十二圓拾七錢、口數一萬七拾二口同拂出拾二萬九千五百五拾七圓、口數一千六百六拾五口で爲替は受入總額三萬九千五百拾七圓、口數一千五百九十六口同拂出總額五萬一千二百六拾一圓、口數一千七百五拾二口で通常の貯金受入の月平均六、七萬圓に比し約四倍の好成績を見せてゐる

竣工した 平魚市場
來る九日に 盛大な開場式

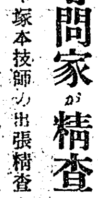
工費一萬圓を以て平町字大工町に新築中であつた株式會社平魚市場は愈々來る三日竣工する事になつたので同日は盛大な落成式を擧行するが同魚市場は他縣にたける各魚市場の長所を取入れて新築したものでその設備等は最も完備した理想的のもので尙來る九日から愈々新市場に於て取引を開始することになつた

玉川の住吉神社々殿 特建に編入有望
中途に修築が玉に疵 更に專門家が精査

石城郡玉川村大字住吉字新舘鎭座の縣社住吉神社の社殿は曩に特別保護編入の候補建造物として同郡大畑村大字玉山字收の下、惠日寺山門耶麻郡慶德村古志王神社々殿及石川郡須釜村所在の石造舍利塔と共に內務省塚本技師八代縣囑託の手により精密なる調査研究を遂げられたが八代縣囑託の推測によれば惠日寺の山門は編入或は覺束なからんも住吉神社々殿は今より二百八十六年前寬永十八年湯長谷藩主內藤政晴公の改造に係りその後一部修築が行はれ少からず原形の權威を傷けあるため編上多少論議の餘地あるものゝ如くなるが多分前記古志王神社々殿（元久二年即ち今より七百二十三年前平清盛熱病に冒され源賴朝が伊豆に擧兵の當時創建）及舍利塔（足利の末期創建）と共に特別保護建造物に編入さるゝのであらうとの事である、因に現在縣下にたける此の種の建物什寶は建造物十一二件國寶約三十點で將來住吉神社々殿がこれに編入さるゝ時は石城郡にたける保護建造物は泉の阿彌陀堂と合せ茲に二件となるわけで更に近く塚本技師の出張精査ある筈因に古昔に現れた住吉神社の緣起次ぎの如くである

底筒男命、中筒男命、表筒男命を合祀し延喜式神名帳に列す所謂磐城七座の一にし西の住の江の三所神を稱せしならんか何の時なりしや詳ならず或は云ふ景行天皇の朝武內宿彌東北巡視の時海上暴風雨に遭ひ住吉神を祈りて無事なるを得たり依て磯山に神籬を立て勸請せしに創まると後康平四年源賴義社殿を造營し鶴丸の寶劍を獻す云々

かみくづ



「眉毛たろしてまだ間もないに」といふ大津繪があるね、それから「髮はこわされかんざしや折られ」か、ナンだつて眉毛なんぞたろさないつて、さうか生れ付き薄いのか◆「たいてい心が晴れるなら」處はドコだつていゝ、「處ぢやない心よ「思ふ存分にして下さんせ」ッて言つたつてね、其アトは「若しも貴君のカンシヤクが、外へても出ようかと案じられ」だとサ、はてカンシヤクといふのは何だらう◆さらカンシヤクつていは、た畑のいゝのをお酌する奴よ、なんて默つてろよ、お前は半玉ぢやないか

戀に國境なし
娘鮮人に惚れて 四倉から平へ

石城郡四倉町本町居住正見長女本田はるゑ（二二）は今年春頃から隣家なる朝鮮人秋山留太郎事張旱珠（二四）と懇となり情交を續けてゐたが前記秋山は去月下旬突然姿を晦ましたので忘れ兼たはるゑは居所を尋ねた揚句平町新川町に居住しゐることをつき止め實家から衣類現金等を持ち出し一日夜同人の下に來り夫婦氣取りでゐたところ追跡して來た實父正見が發見平署に訴へ出たので本人等を呼出し說諭の結果はるゑは父親に引取られたが實家から持出した金品は全部秋山に捲き上げられてゐた

整理進捗 出張所を廢止

石城郡四倉町株式會社四倉銀行では豫て行務整理中であつたが貸付金の整理は案外迅速に進捗し預金支拂へも亦實行する手順となつた模樣であるが經費輕減のため平、久之濱、木戶及び四倉二ヶ所の出張所を全廢し人員の解職もなし隨つて出張所に使用せし什器類もそれ〴〵希望者へ賣却整理しつゝあると

松野尾氏開業 平町

辯護士新田目善次郎氏女婿法學士松野尾繁雄氏は平町才槌小路に事務所を設け去る一日より辯護士の業務を開業した

農事講話會 大野村

大野村では來る五日同村大字柳生に於いて柿栽培に關する農事講話會を催すが當日神谷分塲小塙技手の講演がある

研究講座

癇癪もちの女 吉田いちろ投

運動界に於いて特殊の優秀な選手を生み出す事はひいては吾國民の運動振興の助けともなり、また之に依つて國民に確固たる

自負 心が與へられる、この意味に於いてレコード本位、選手本位も結構な事に違ひありません、然し體育としては、此の進取主義と相俟つものとして謂ば普遍主義が忘れられてはならない、進取主義ではナンバー・ワンだとかビッグ・スリーだとか、ベスト・テンだとか言つて極少數の優秀者を目標とするが、普遍主義、體育となると十萬人が皆しも一定の標準に達することが

目當 てとされるものであります、この制度をヴアーヂ・テストと言ひますが、第一第二第三等と大體の階段があつて、一々檢査した上で例へば兵役の甲種乙種の樣な風に分けて、それに應じて全體的の體育上を圖るものであります、之は誠に肝要な體育法と言はねばなりません、然して彼の思想善導問題と運動とに又緊密な關係がある、見て判る通り槪して運動家は

快活 な性質の所有者であります運動を適度にやつてゐれば絕わず心は晴やかに輕快です運動せずに閑居してゐると詰らぬ事を考へ出すやうになる、一體日本の婦人にヒステリー性の人が多いのは運動の不足から來てゐるのです、運動は身體の發育を順調にするは固よりの事、姿態の均整を保ち、早老に陷ることを防ぐ

美容 術と言ふのは單に顏につけるた白粉、髮にあてるアイロンだけがよく之を爲し得るものではありません、婦人にとつて茶の湯、生花、舞等が姿態を優美にする一種の美容術であるが如く合理的な運動は更に大なる根本的な美容術であります、第一運動家は皮膚の艶からして生々としてゐます、容姿も適度に細つそり高くなる冬も

室內 で居ながらにして行へる體操をお勸めするのです厚い着物をつけたまゝやるのが面倒なら、朝起きた時、夜寢る時風呂に入る時など肌着一つになつた時に、三四分間づつやればよい、やりつけないからなどと言つて決して滑稽に感ずる事などない斯くすれば心は常に晴やかで仕事の能率も高まります、朝やる體操は所謂ウオミング・アップであつて

精神 を統一し仕事に對する身體の準備となる、仕事の中頃でやる體操は心機を一轉させるに役立ち、仕事の終つた時の體操は一日の疲勞を恢復せしめます疲勞の按摩に肩を揉ませて疲勞を癒すのはあれは謂はゞ他動的の體操であつて、もつと積極的な自動的の體操を大いにやらねばなりません、斯ういふ事は一人々々には中々實行出來るものではなく社會全體の熱心を喚起したいものです。

外科一般（入院隨意）
內臟外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

產婆
自宅に於て產姙婦をお取扱ひ致します
草野靜枝
平町研町九番地（公園下）
電話（呼出）四四三番

電話開通披露
七五二番
平窪村辰ノ口本家
松本德一

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵金物問屋
(久) 釜屋商店
諸橋久太郎
電話九一番 三九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は(久)の生命なり

△染色力……確實
△使用法……頗る簡便
△價格……低廉
定價……小瓶二五 中瓶三五 大瓶五〇
大販賣店 平町五丁目角 山野邊藥局

釀造元
銘酒 清世界 (吉)
各炭礦御用達
石城小名濱町
清水屋
小野晋平
電話六番